

不適合情報

2023年9月1日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	国に提出した高経年化技術評価書のうち弁の評価において、ほう酸水注入系ステンレス鋼逆止弁の想定劣化事象(熱時効)について、評価しなくてもよい機器であったが、評価対象として技術評価書に記載していたことを確認した。類似記載の有無を確認し、当該弁を含めた3系統の弁について、同様に評価対象としていたことを確認。いずれも高経年化技術評価結果に影響なし。原子力規制庁へ報告済み。今後、原子力規制庁と協議のうえ補正申請を実施。	2023/08/25	
2	4号機	非常用ディーゼル発電機(A)点検後の試運転において、負荷率の上昇中にNo. 11燃料噴射ポンプミスト管に油滲みを確認した。試運転を中止し油滲みを拭き取り済み。当該事象の原因を調査し修理。なお非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2023/08/30	